

厚生労働科学研究費補助金（認知症対策総合研究事業）
分担研究報告書

スピリチュアルケアによるBPSDの予防・対応方法の開発に関する研究

分担研究者 遠藤英俊（独立行政法人国立長寿医療研究センター）

研究要旨：

研究目的：Elizabeth Mackinley らが開発したスピリチュアル回想法を日本に導入し、特別養護老人ホームにおいてその有用性について検討した。
研究方法：対象は軽度の6名の認知症患者であり、毎週1回、介入群6名を対象として6週間を1クールとして、4回繰り返した。対照群は6名である。
研究結果：スピリチュアリティ尺度は6か月後、3回目の評価において、改善を示し、PGCにおいて有意なQOLの改善が観察された。まとめ：スピリチュアルケアはライフレビューを基礎において、グループセッションを行うことにより、スピリチュアリティ尺度やPGCにおいて心理症状の改善が観察され、BPSDの軽減やQOLの改善を図ることができた。日本においてもBPSDの軽減に対して、十分に有効な認知症ケアの方法と考えられた。

A. 研究目的

本研究の目的は、認知症のBPSDの症状はさまざまであり、個別性が高いために、対応が困難な場合がある。具体的には妄想や徘徊、感情失禁などの症状があり、その程度も様々である。そこで本研究ではケアへの影響を及ぼすとされる認知症のスピリチュアルケアを導入し、その長期的な有用性について検討した。

B. 研究方法

研究方法としては有料老人ホームへの入所者でコントロール群6名と介入群6名を無作為に選択し、臨床心理士が回想法のリーダーとして、週1回のセッションを6回を1クールとして2クール行った。その際介入の前後でMMSE、スピリチュアリティスケール、PGCモラールスケールの評価を別の臨床心理士が行った。計6か月の介入研究を繰り返し行った。今回は6か月間のデータを

分析した。

（倫理面への配慮）本研究は国立長寿医療研究センターの倫理委員会の承認を得て行った。研究発表、研究報告にあたっては匿名性に配慮し、個人情報の保護に留意する。

C. 研究結果

認知症の人へのスピリチュアルケアを実施し、その6か月間の有用性について検討した。その研究の評価としては図1に示したように、スピリチュアリティ尺度は90点満点で介入前の61.8から介入後は65.8へ、対照群ではそのスコアが低下した。また図2に示したようにコントロール群では変化がなかったが、介入群ではPGCモラールスコアが4.3から5.8へ改善した。対照群では変化がみられなかった。

D. 考察

スピリチュアル回想法はオーストラリア

で開発され、2010年に日本に導入された。本研究ではその日本での効果について検証したところ、プリミティブではあるが、認知症の人のQOL, 心理行動に対してよい影響がある可能性が示唆された。本ケアを広めるためにはさらに、検討を加え、介護職への有用性の調査を行い、その後介護職むけの研修が必要となるが、その価値は大きいものと思われる。

E. 結論

認知症のBPSDに対する新しいケア、すなわちスピリチュアルケアを導入したところ、認知症の人にもスタッフ側にもよい効果が観察され、BPSDへの治療とケアの一つの手段となりうることが示唆された。

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Hiroyuki Umegaki, Madoka Yanagawa, Zen Nonogaki, Hirotaka Nakashima, Masafumi Kuzuya, Hidetoshi Endo
Burden reduction of caregivers for users of care services provided by the public long-term care insurance system in Japan Archives of Gerontology and Geriatrics 58:130-133,2014

2. 学会発表

- 1) 遠藤英俊、遠矢純一郎、小宮山恵美、大谷るみ子 (内科総合診療部) シンポジウム1 これからの認知症ケアと在宅医療. 第16回日本在宅医学会大会, 2014年3月1日, 浜松市.
- 2) 遠藤英俊 (長寿医療研修センター) 認知症治療薬に関する最新情報の提供 (座長). 第55回日本神経学会学術大会, 2014年5月21日, 福岡市博多区.
- 3) 遠藤英俊 (長寿医療研修センター) 学会企画セッション【超高齢化社会における内科医療の役割を再考する】 演題:「虚弱高齢者診療の現状と課題」米国内科学会日本支部 年次総会, 2014年5月31日, 京都大学.
- 4) 服部英幸, 鷺見幸彦, 櫻井孝, 遠藤英俊, 鳥羽研二 (行動・心理療法部, 脳機能診療部,

もの忘れ外来部, 長寿医療研修センター, 理事長室) 急性期病院内の認知症治療病棟での実践 第56回日本老年医学会学術集会, 2014年6月13日, 福岡市.

- 5) 佐竹昭介, 洪英在, 小林正樹, 西原恵司, 川嶋修司, 三浦久幸, 遠藤英俊 (高齢者総合診療科, 在宅連携医療部) 高齢者総合診療科外来受診者の服薬数と基本チェックリストによる虚弱評価 第56回日本老年医学会学術集会, 2014年6月13日, 福岡市.
- 6) 千田一嘉, 佐竹昭介, 西川満則, 徳田治彦, 三浦久幸, 遠藤英俊 (呼吸器科, 高齢者総合診療科, 臨床検査部, 在宅連携医療部) 基本チェックリストの継時的変化で見た高齢睡眠時無呼吸症候群患者(OSAS)のケア 第56回日本老年医学会学術集会, 2014年6月13日, 福岡市.
- 7) 千田一嘉, 佐竹昭介, 西川満則, 徳田治彦, 近藤和泉, 三浦久幸, 遠藤英俊 (呼吸器科, 高齢者総合診療科, 臨床検査部, 機能回復診療部, 在宅連携医療部) 高齢 COPD 患者のための呼吸リハビリテーションを核とした「包括的ケア」への基本チェックリストの導入 第56回日本老年医学会学術集会, 2014年6月13日, 福岡市.

G. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

1. 特許取得
なし。
2. 実用新案登録
なし。
3. その他
なし

図1. スピリチュアル回想法のスピリチュアリティへの効果

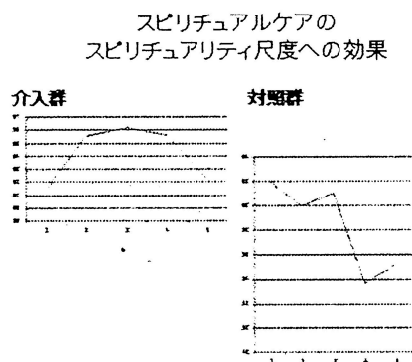


図2. スピリチュアル回想法のPGCへの効果

